

市へ質問



みんなで観光の
まちづくり
辻 弘之

登別市だけでなく、近隣自治体とともに、それぞれの魅力を発揮した観光産業の振興を図れるよう、国土交通省による「観光圏」の認定に取り組むことを提言。当市が「定住促進地区」として、観光圏整備実施計画の策定を本年度中にすることになりました。また、家庭への太陽光発電導入費助成制度の設立など、環境政策の積極的展開を提言。来年度市政執行方針において、環境政策が盛り込まれることになりました。最後に、災害時要援護者への支援強化を再三訴えました。



小学校のグラウンドの
暗きよ排水工事について
渡辺 勉

【問】毎年運動会シーズンになると教員を悩ませるのは、一度雨が降ると練習が2、3日出来ないこと。時には、外で一度も練習できないで当日を迎えることもあり子ども達の負担も大変なものである。教員達は、当日、朝5時半出勤ということもあり、正常な教育活動ができる環境ではない。グラウンド整備の年次計画を立て子ども達が力いっぱい活動できる教育環境整備を行うべき。

【答】グラウンド状況は承知している。排水工事の必要性については一度検討したい。



将来の登別の
議論を！
赤根 広介

【問】自治体間の新たな連携の形として、「定住自立圏構想」が国から示された。室蘭市が年内に中心市宣言をする意向だが、提携を結んだ場合の圏域全体と、当市におけるメリットと今後の市民に対する周知・議論の手法については。

【答】中心市が持っている機能により、周辺市町村の生活機能が補完される。また、昨年度策定した「西胆振地域づくりビジョン」と併せて、「定住自立圏構想について」の意見交換の場が必要であると思っている。



登別市経済（産業）
政策の樹立を！
西村 孝夫

【問】現在観光を中心とした産業クラスター計画を基に、産業政策が進められているがその検証、効果が見えないことから市内の各産業が連携し、各分野別に個別指標が見える基本政策を樹立すべきでないか。そのためには総合計画基本計画の実施計画を樹立して、具体的な地域経済（産業）活性化策を展開すべきではないか。

【答】現在の市の財政状態を考えると多大な投資に耐えられないことから国の動向に従いたい。



中学校の運動部活動
について
成田 昭浩

【問】部活動の重要性、必要性を行政は認識しているものの、積極的な環境改善には至っていないのが現状である。生徒・教員の減少、教員の多忙・高齢化、適切な指導者確保の困難さや、生徒・教員・保護者・指導者間の連携不足など、学校だけの問題ではない。地域を含め、行政がリードした仕組みづくりを進めるべきと指摘。部活動がスムーズに理想的、有意義なものになるように、また大きな問題が起こる前に現場の実態を把握するよう努めるべきである。先進自治体の事例を研究し、サポート及び指針を示すべきと提言した。



組織機構のあり方
検討の状況は
高橋 正美

【問】庁内におけるグループ制の見直しを含めた組織機構のあり方の検討状況はどうなっているのか。

【答】高額療養費問題に関連して『再発防止の取り組み計画』を策定したが、その計画に基づき、グループ制のあり方や検証を含めて7月・8月に全職員にアンケート調査を実施し、現在取りまとめているところである。

【問】その結果を基に検証し、次年度の組織機構の見直しにあわせて、ともに検討していきたい。



登別の今後の進路と
その取組みは
松山 哲男

【問】市長就任1年の経過と政権交代や世界的な大転換期といった時代背景において、現状の検証と見直しをし、登別の今後の進路とその取り組みを明らかにするべきである。総合計画見直しの考えや基本計画の「やさしさ」と共生するまちと「大地に根ざしたたくましい産業」が根ざすまちの各施策推進上の課題などを質問。さらに、様々な立場の方々との助け合いの仕組みづくりや、観光振興について新たな視点での戦略・戦術を構築することなど、提言を交えながら再質問をした。